

## 市販薬による副作用を回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、持参された市販薬による副作用が疑われ、他剤への変更等を提案することで、安全な薬物療法の提供に寄与できたプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

▶手術目的で入院された患者

市販の便秘薬（成分：大黄甘草湯エキス）を持参

カリウム値：入院前 3.5mEq/L、入院直後 3.9mEq/L



Dさん

### 持参薬確認時

Dさん、普段飲まれている市販薬やサプリメントはありますか。

便秘のときに、市販の便秘薬を飲んでます。特に最近便秘がちで、飲むと効果があるので、入院中もできれば飲みたいのですが。

分かりました。担当の先生に、入院中も飲んでいいか確認しておきますね。



患者



薬剤師

担当医より、市販の便秘薬の使用許可が出て、入院中も服用継続された。

### 数日後

カリウムの値が **2.9mEq/L** まで下がっている。確か市販の便秘薬を飲んでいて、成分が**大黄甘草湯**だったはず。手術の影響も考えられるが、**甘草**がカリウムの低下に関係しているかもしれない\*。

Dさんのことで相談があります。カリウムの値が元々低い傾向でしたが、**2.9mEq/L** まで下がっております。市販の便秘薬に**甘草**が含まれており、もしかしたらカリウムの低下に関係しているかもしれません。センノシド等の**甘草**が含まれない便秘薬に変更し、**アスパラカリウム**を追加して補正するのはいかがでしょうか。

ありがとうございます。市販の便秘薬は中止してセンノシドに変更します。アスパラカリウムも開始しましょう。



医師



薬剤師

その後、患者に便秘薬の変更について説明し、便通コントロールは問題なく経過した。また、カリウムの値は **4.1mEq/L** と正常範囲になり、アスパラカリウムの内服は中止となった。市販薬による副作用が疑われた症例に介入することで、安全な薬物療法の提供に寄与できた